

松河戸区民 各位

松河戸自主防災会会長

「災害図上訓練 DIG(地震版)」開催結果報告

去る、10月30日に春日井市消防本部の主催により開催されました頭記訓練の様子を、下記の通りご報告申し上げます。

記

- 1、開催日時 令和3年(2021)10月30日(土) 9時～12時
- 2、場 所 松河戸公民館
- 3、出席者 松河戸自主防災会 19名、春日井市消防団 9名、消防本部 4名、
講師(一般財団法人 消防防災科学センター) 4名、合計 36名
- 4、開催の狙い 松河戸地区の地震防災環境に関する理解を深めることを目的に、災害図上訓練を開催。

5、内 容

◆「DIG」とは。Disaster(災害) Imagination(想像力) Game(ゲーム)の頭文字で、「防災意識を掘り起こす」「地域を探求する」「災害を理解する」という願いがこめられています。

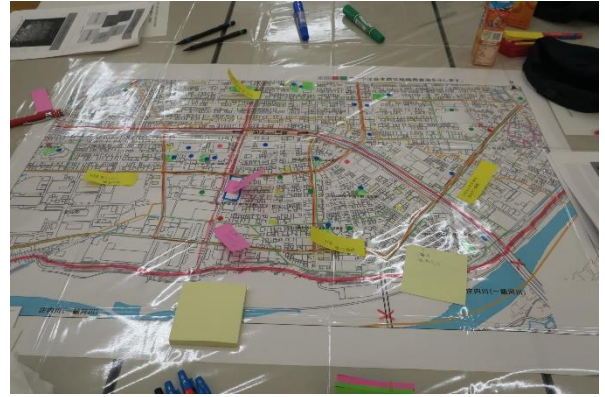
DIGを通じて、地域の防災の課題を把握し、いざという時に備えその時の行動について話し合い、自分や家族・地域が助かることを考える。

◆DIGは、地域の地図を囲み災害対応のイメージを高めるもので、ゲーム的要素も取り入れられています。まずは、過去の地震の映像を見て災害のイメージを共有し、松河戸町で想定される地震被害やハザードマップの見方を学びました。



◆訓練では、出席者が4グループに分かれ、コミュニケーション作りのための自己紹介から始まりました。

その後、大地震が発生したという想定のもと、地図上に地域の防災拠点や地震時に危険性のある場所などを色分けし、防災マップを作成しました。



◆最後のグループ発表では、「日常の備えが大切であると感じた」「避難ルートをしっかりと確認しておく必要がある」というような意見が発表され、地域の課題が明らかになっていきました。

◆訓練終了時には、「もっと防災意識を高めたい」「防災資器材・備蓄食料品の配備などの見直しが必要」などの声上がり、とても有意義な訓練となりました。

◇松河戸自主防災会としては、今回の「災害図上訓練DIG(地震版)」で学んだことをベースにして、「防災マニュアル」「防災資器材や備蓄食料品」の見直しなどを進めていきます。

以 上